
輝く女性農業者コミュニティスキル塾
基礎研修テキスト
コミュニティづくり編（ダウンロード用）

金子 和夫

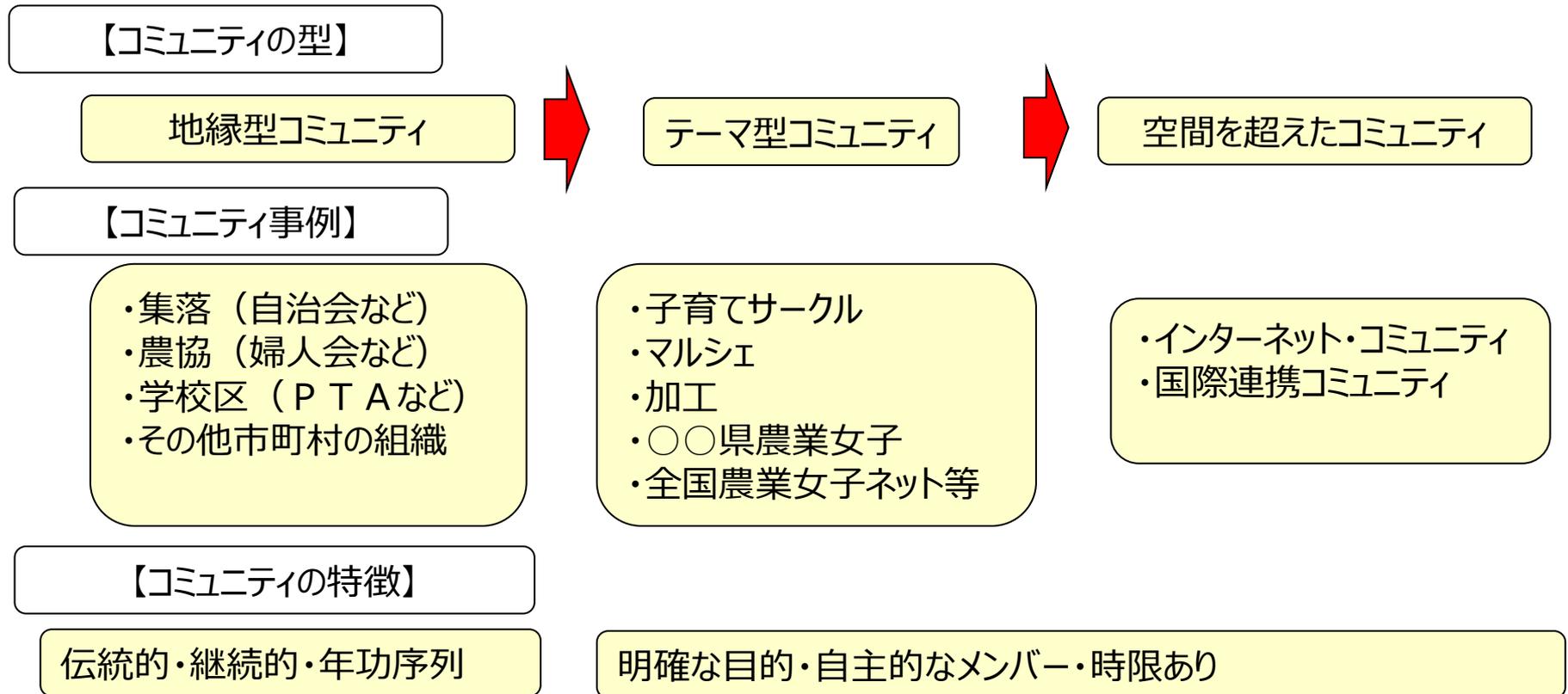
■ 第1部. コミュニティとは何か

1-1. 地縁的なコミュニティからテーマ型コミュニティや空間を超えたコミュニティへ

コミュニティとは共同体のことです。もともとは、同じ地域に居住して、人々が共同体意識を持って共同生活を営む一定の地域、およびその人々の集団のことで、これを「地縁型コミュニティ」といいます。

最近では、地縁型コミュニティを超えて、共通の関心を持つ仲間が集まった「テーマ型コミュニティ」が増加しています。国際的な連帯やインターネット上の集まりなども共同体、コミュニティと呼ばれています。

図 コミュニティの型

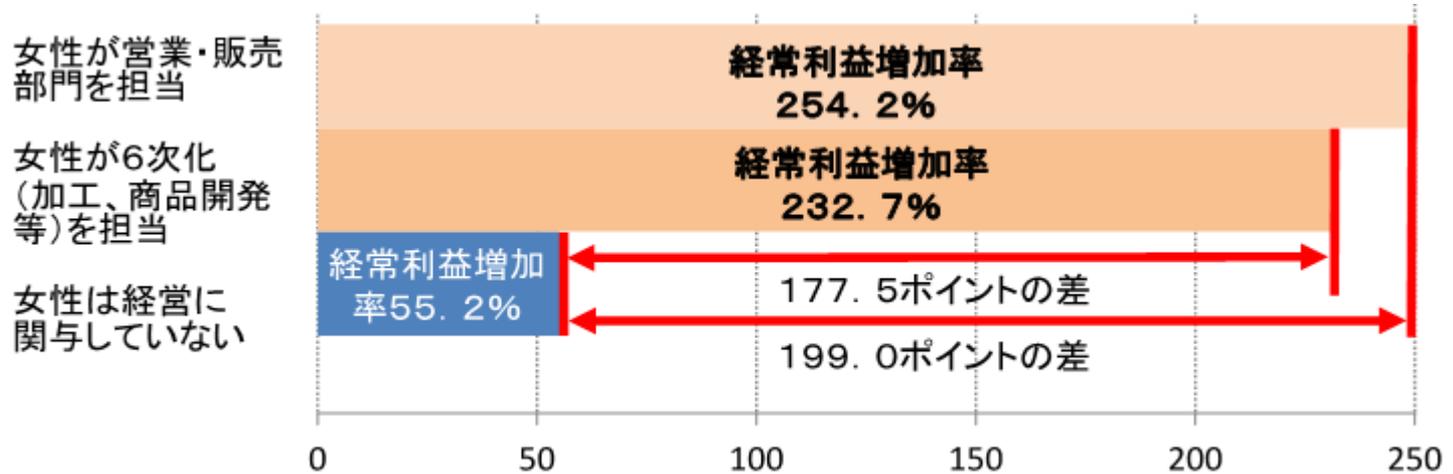


■ 第1部. コミュニティとは何か

1-2. 農業・農村における女性の役割と活躍の広がり

女性は農業就業人口の46.8%を占め、農業の担い手として重要な役割を果たしています。年齢別にみると50～64才の階層では男性を上回っています。下記の図表のように、女性が経営に關与する経営体は、關与していない場合と比べて利益増加率が高くなっています。しかし、女性経営者は全体の7%程度で、農業委員や農協役員等のリーダー層の女性割合は1割未満で、少ない状態です。

図表 女性の担当分野別 経常利益増加率（平成26年～平成28年度）



（出所：日本政策金融公庫「平成28年上半期農業景況調査」）

■ 第1部. コミュニティとは何か

1-3. 農業・農村を取り巻く社会の変化をとらえる

ここで、女性農業者を取り巻く環境の変化に目を移します。農業・農村を取り巻く社会の変化は下表を始めとして大きく変化しており、農業・農村に様々な脅威だけでなく、新たな機会をもたらしています。女性農業者には社会の変化を捉えて活動することが期待されています。

表 社会の変化が農業・農村にもたらす機会と脅威

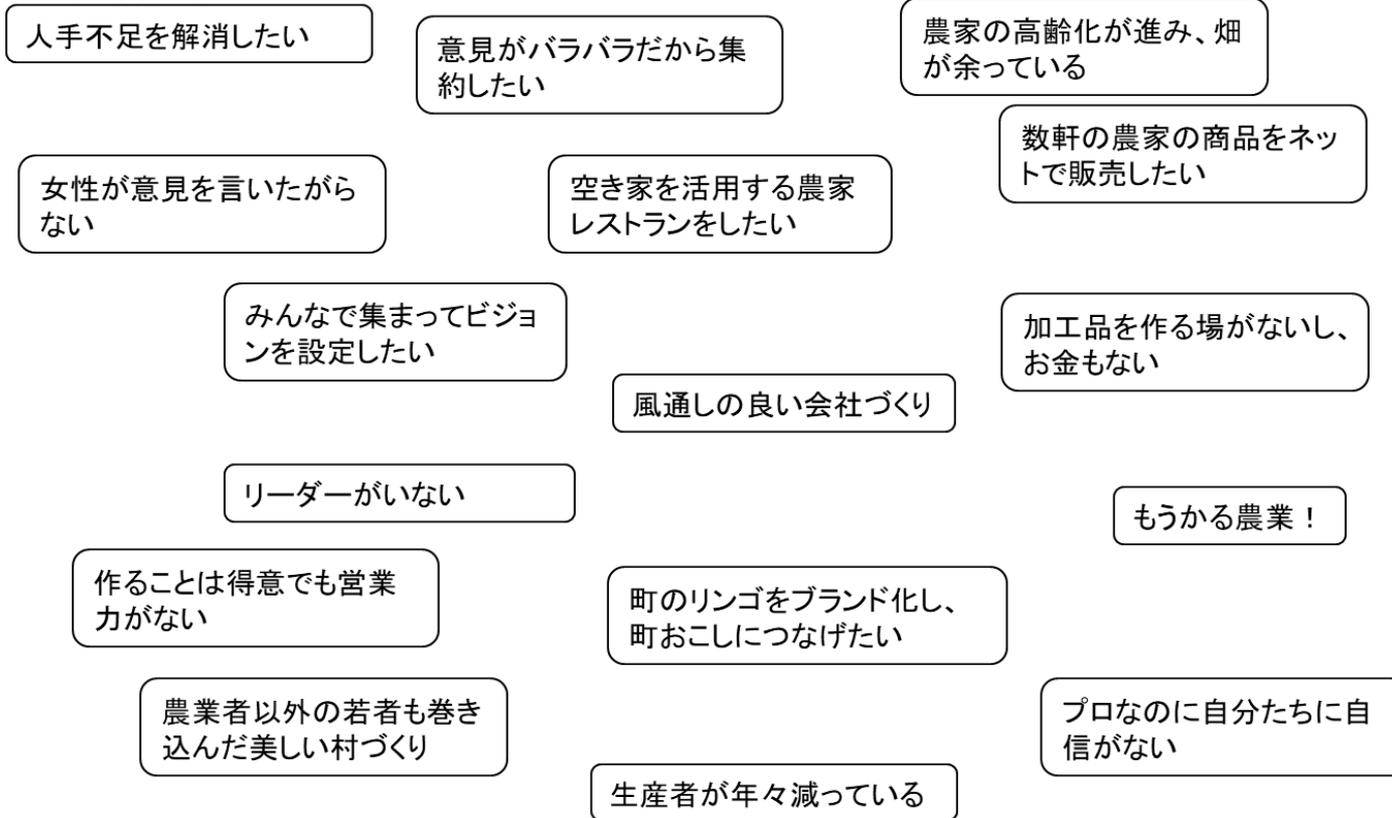
分野	社会の変化	機会	脅威
人口	人口減少と少子高齢化	都市から地方へ移住が増加 地方移住、農福連携	地方の人口減少
経済	グローバル化の進展	すぐれた農産物の輸出	安価な輸入農産物の増加
技術革新	I Tの進化	I Tを活用した農業	I Tを活用した企業の参入
農業者	農業者の高齢化	新規就農者の増加	後継者の不足
農地	耕作放棄地の増加	農地の集約と大規模化	自然災害の増加
流通	市場経由の流通の減少	地産地消、直接取引の増加	電子商取引の増加
消費	消費スタイルの多様化	安心・安全の重視	中食、外食の増加
地域	自治体の行財政の悪化	住民主体による地域づくり	行政サービスの低下

■ 第1部. コミュニティとは何か

1-4. コミュニティが抱えている課題はたくさんある

実際に現場の視点で捉えると、コミュニティが抱えている課題がたくさん見えてきます。以下は女性農業コミュニティリーダー塾基礎編の参加者がワークショップで出した課題です。

図 コミュニティの課題例



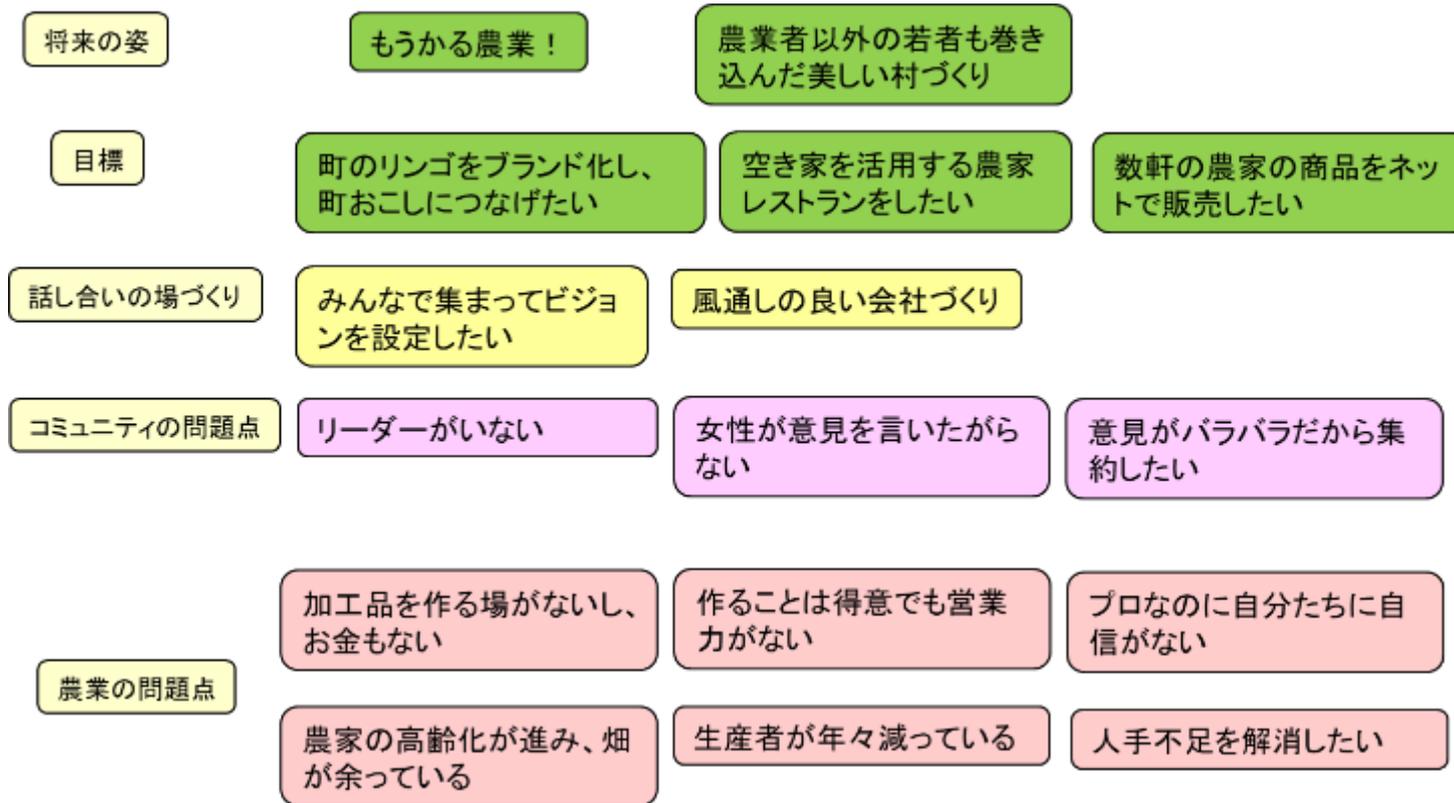
(出所：女性農業コミュニティリーダー塾 基礎編)

■ 第1部. コミュニティとは何か

1-5. コミュニティ課題を整理すると将来の姿と目標が見える

一見バラバラに見える課題も整理してみると、コミュニティにおける農業の問題点、コミュニティの問題点、話し合いの場づくり、目標・将来の姿……などがざっくりと見えてきます。

図 コミュニティの将来の姿



(出所：女性農業コミュニティリーダー塾 基礎編)

■ 第1部. コミュニティとは何か

1-6.ミニワークショップ（あなたが所属するコミュニティの課題は？）

ここで動画を止めて、あなたが所属するコミュニティの課題を書いてみましょう。時間は3分でお願いします。

表 わたしが所属するコミュニティの課題

検討項目	記入欄
コミュニティの名称	
参加者の人数、特徴	
活動内容	
コミュニティの課題	

■ 第1部. コミュニティとは何か

1-7. 女性農業者の取組テーマは多岐にわたる

また、女性農業コミュニティリーダー塾の塾生が取組んで見たいテーマを整理してみると、「農業経営の新たな取組み」、「農業と多分野との連携」、「女性コミュニティの活性化」の3つに分類することができました。ご自身の取組はどんなジャンルに分類されるのか、参考にしてみましょう。

表 女性農業者の取組分野

分野	テーマ	内容
農業経営の新たな取組み	農産物のブランディング	トマト、レタス、菊芋、葡萄、連柿、卵農場
	農業の6次産業化	地産地消、宅配弁当、加工と輸出、マルシェ、加工品
農業と多分野連携	農福連携	福祉分野との連携で働き手を確保
	女性能力の発揮	職場の女性従業員の活性化
	消費者との交流	環境と農の学び場、グリーンツーリズム、食育、農産物の消費拡大
女性コミュニティの活性化	広域的な女性コミュニティづくり	農業女子のネットワーク
	女性の自立と地域参加の促進	子育て、まちづくり
	新規就農者コミュニティ	コミュニティの形成

(出所：女性農業コミュニティリーダー塾)

■ 第1部. コミュニティとは何か

1-8. コミュニティづくりの主役はあなたたちです

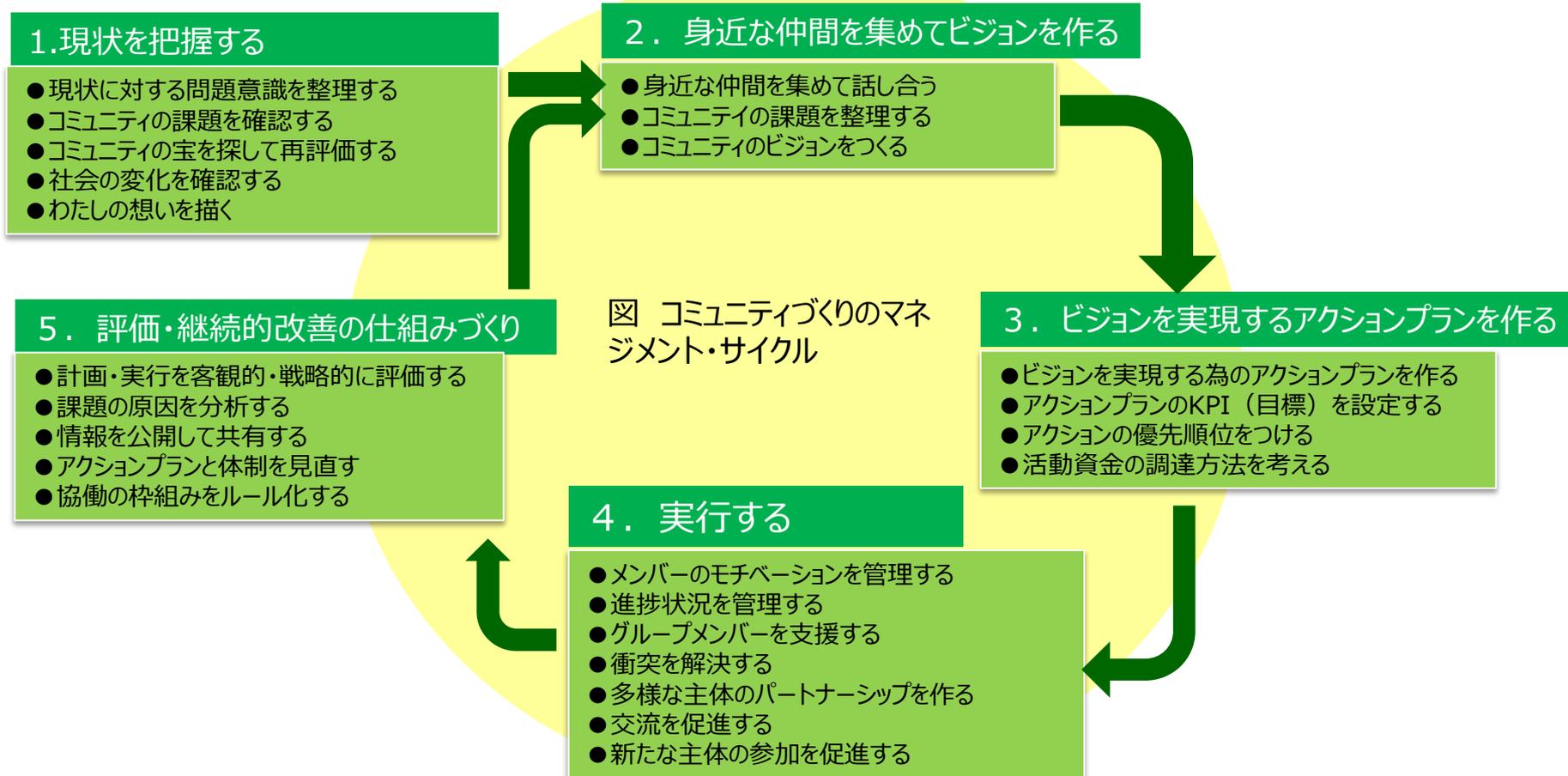
ここまではコミュニティと女性農業者活躍について、俯瞰的に見てきました。
次章からはいよいよ皆さんがリーダーとして、行動を開始する為の具体的な行動について紹介していきます。
リーダーとしてあゆみを進めるうえで、下記の観点を強く意識することをお勧めします。

- コミュニティの現状に対して、問題意識を持って、見つめましょう。
- コミュニティの序列や人間関係にしばられず、自分の意見やアイデアを、心にしまい込まず、発信しましょう。
- コミュニティに、新しい人や、外の組織を、積極的に受け入れましょう。
- 人と人とのつながりをつくり、コミュニティづくりの楽しさを、みんなで実感しましょう。
- コミュニティが抱える課題に対して、仲間とともに、取り組んでいきましょう。

■ 第2部. コミュニティの現状を把握して私の想いをつくる

2-1. コミュニティづくりの5つのステップ

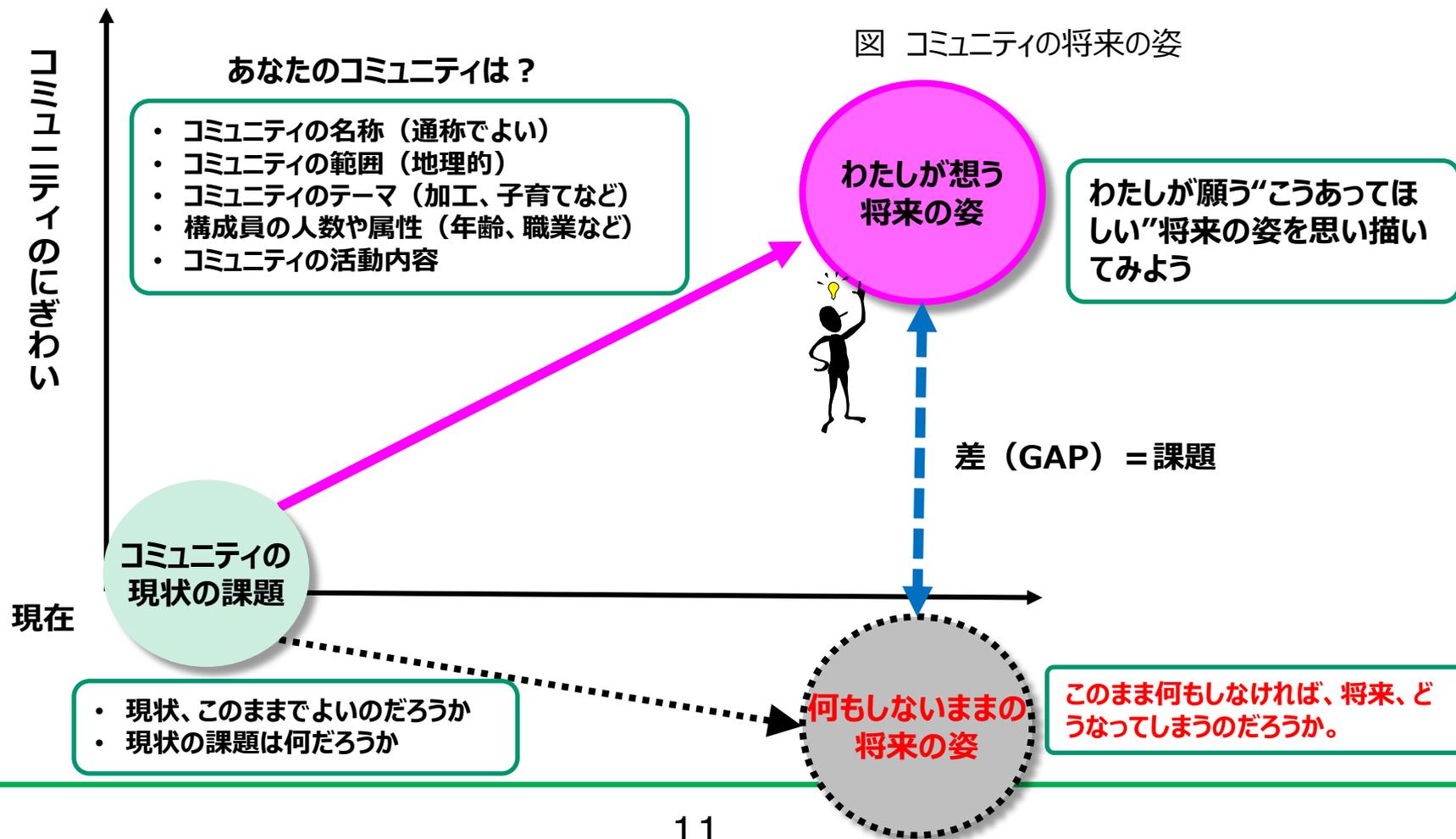
コミュニティづくりは第1ステップの「現状を把握する」から、第2ステップの「身近な仲間を集めてビジョンを作る」、第3ステップの「ビジョンを実現するアクションプランをつくる」、第4ステップの「実行する」、そして第5ステップの「評価・継続的改善の仕組みづくり」まで1年で取り組みます。これを毎年繰り返すことで、目指す将来像を実現することができます。



■ 第2部. コミュニティの現状を把握して私の想いをつくる

2-2.現状に対する問題意識を整理する

まず、あなたが対象とするコミュニティについて、「現状の課題」、「何もしないままの将来の姿」、「わたしが思う、こうあって欲しい将来の姿」を考えてみましょう。まずは空想してみるところから初めて見ましょう。あなたが対象とするコミュニティの将来の姿を思い描きます。空想から、少しずつ具体化していきましょう。現時点では妄想のレベルで構いません。また、下図のように何もしなければどうになってしまうか、社会の変化と併せて少し考えてみましょう。



■ 第2部. コミュニティの現状を把握して私の想いをつくる

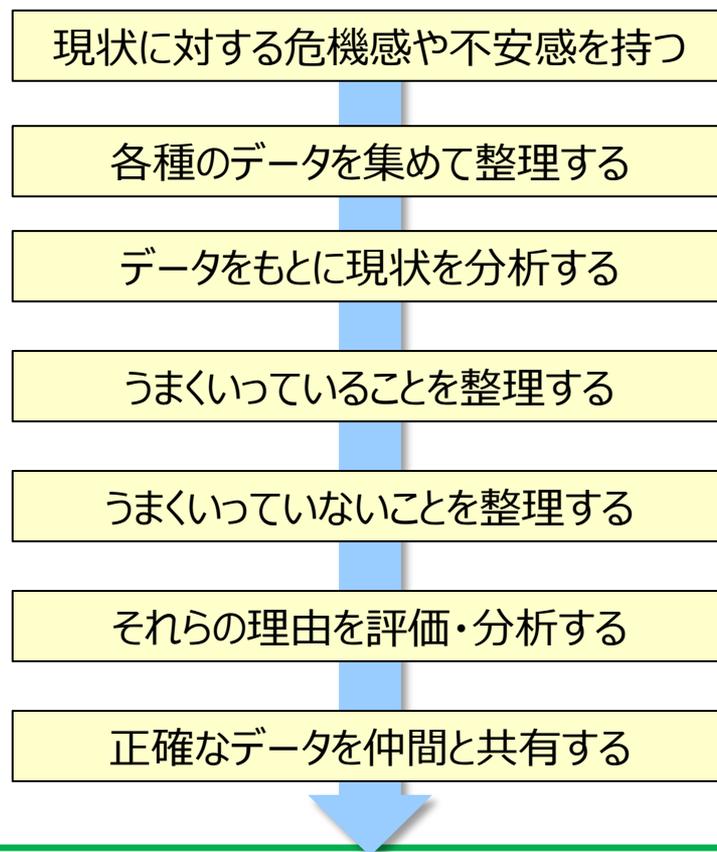
2-3. コミュニティの課題を確認する

課題とは「あるべき姿・ありたい姿」と「なにもしないままの将来の姿」との差（GAP）を指します。

ここでは現状を正確に把握する為の手法を紹介します。

問題に対処して、解決方法を開発するには、現在の状況を正しく把握しておかなければなりません。各種データは、コミュニティを構成する人々の現実的な見方を提供します。自分のテーマに沿った統計データを、仲間と共有することが重要になります。

図 現状を知るための手順

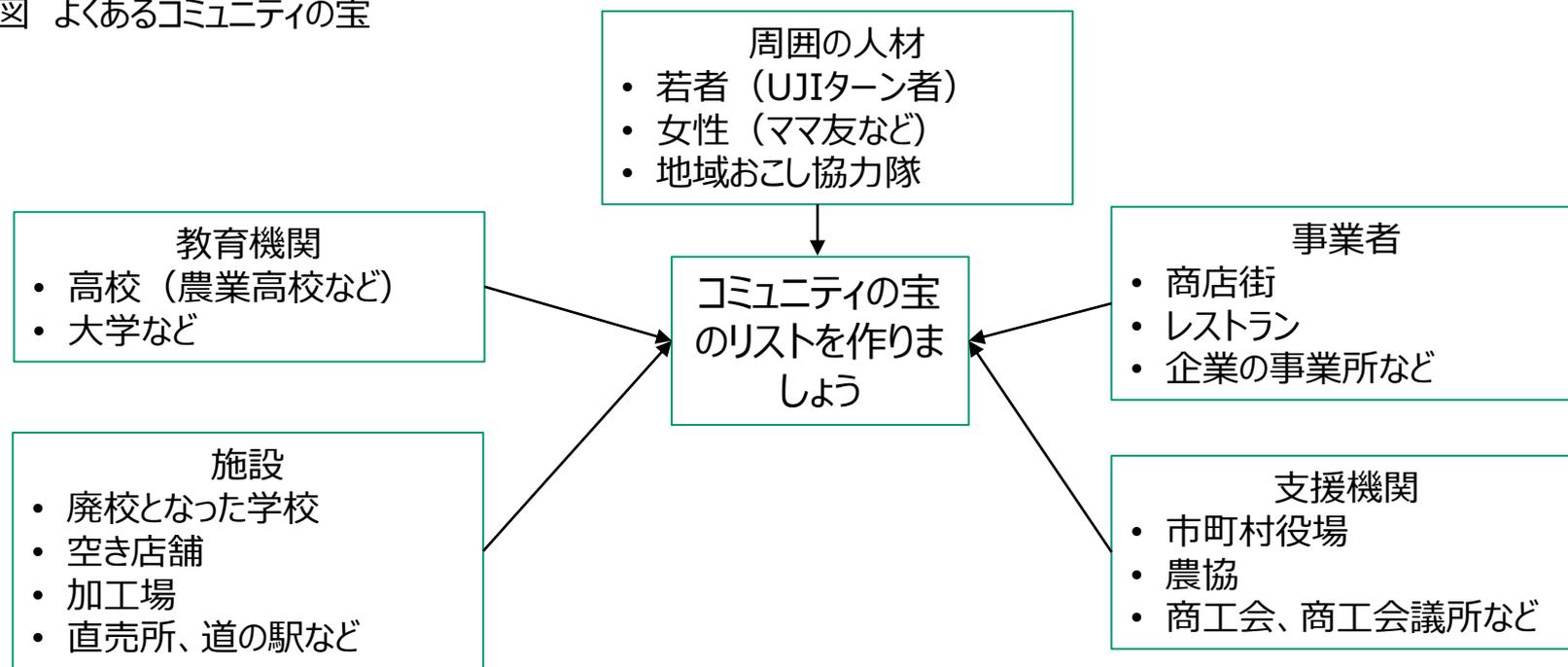


■ 第2部. コミュニティの現状を把握して私の想いをつくる

2-4. コミュニティの宝を探して再評価する

コミュニティの現状が整理できたら、コミュニティの宝（地域資源）を探して評価してみてください。うちの町には何もないと考えるのではなく、あるものを探して、それを活用することが重要です。コミュニティに深く根差していればいるほど、埋もれた宝は発見しにくいようです。下記の切り口を参考に考えてみてください。

図 よくあるコミュニティの宝



■ 第2部. コミュニティの現状を把握して私の想いをつくる

2-5. 社会の変化を確認する

コミュニティ内・外の情報を整理したところで、「SWOT分析」という手法を用い、打ち手を検討します。
SWOT分析の方法は、最初に内部環境として、コミュニティの強みと弱みを書いて、次に外部環境として今後予想される機会と脅威を書きます。そこから4つの打ち手を検討します。

- ①内部環境として、コミュニティの強み、弱みを書きます。
- ②コミュニティを取り巻く外部環境について、今後予想される機会と脅威を書きます。
 - ・機会とは、コミュニティにとってプラスとなる外部の環境変化のことです。
 - ・脅威とは、コミュニティにとってマイナスとなる外部の環境変化のことです。
- ③4つの項目が書けたら、以下の4つを考えて、書きます。
 - ・強み×機会：強みを生かして、機会をとらえて、積極的に展開する
 - ・強み×脅威：強みが脅威によって脅かされないように、対策を考える
 - ・弱み×機会：弱みを機会を利用して、積極策に展開する
 - ・弱み×脅威：弱みが脅威によって、さらにきびしい局面とならないように対策を考える

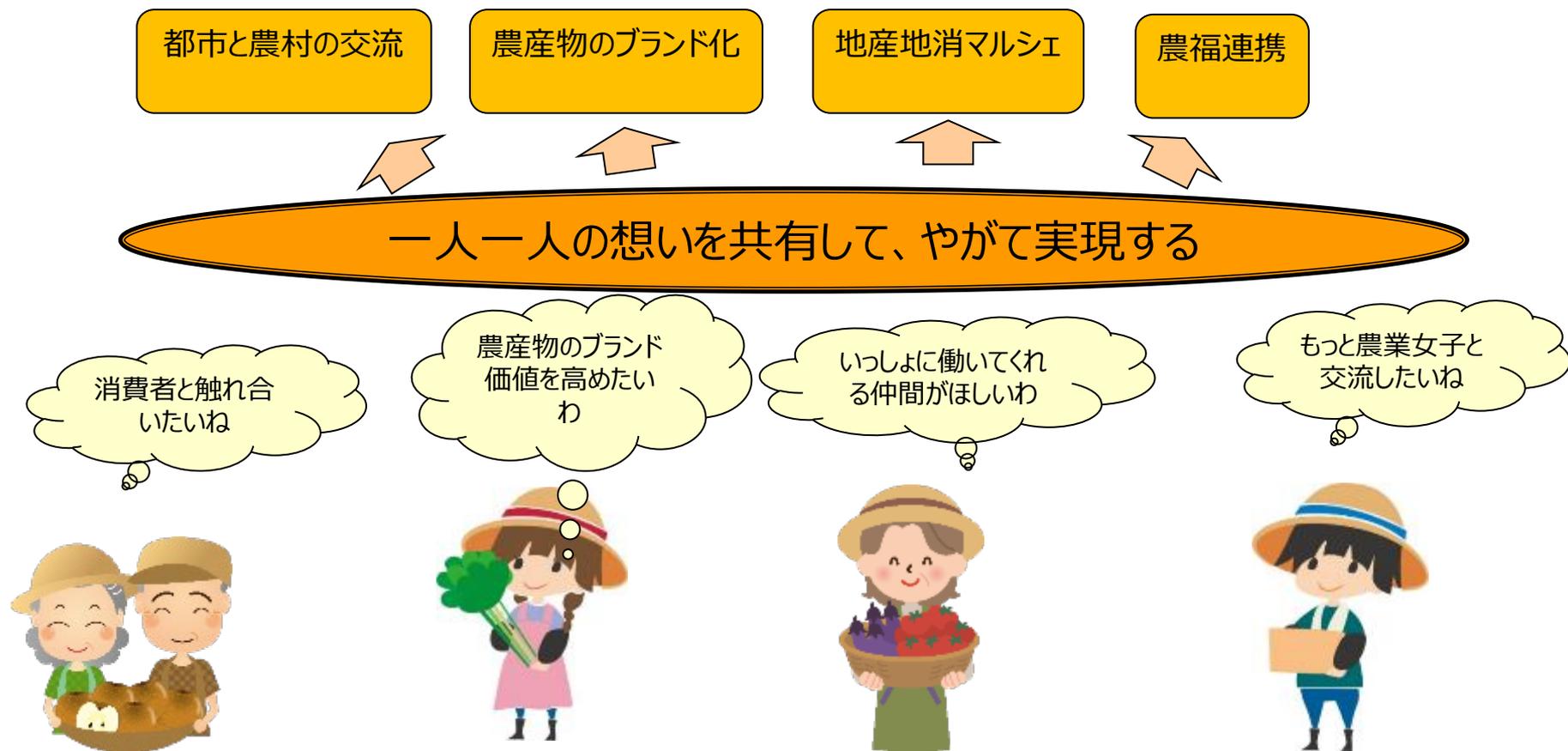
表 SWOT分析における4つの打ち手		内部環境	
		①強み	②弱み
		・ ・	・ ・
外部環境	③機会	①強み×③機会 ・ ・	②弱み×③機会
	④脅威	①強み×④脅威 ・ ・	②弱み×④機会 ・ ・

■ 第2部. コミュニティの現状を把握して私の想いをつくる

2-6.わたしの想いを描く

ここまで自分が普段感じている課題や、内外のデータから自分の想いを少しずつ具体化してきました。このように、最初は一人一人の想いやつぶやきからスタートしても、仲間が集まり、想いを共有するようになり、やがて、想いを実現するコミュニティ活動につながっていきます。そこで私の想いを言葉と絵にしてみましょう。

図 コミュニティづくりのイメージ



第2部. コミュニティの現状を把握して私の想いをつくる

2-6.わたしの想いを描く (参考事例)

私の想いを身近な仲間に伝えるために、絵にかいてみましょう。

図 私の想いのイメージ



■ 第2部. コミュニティの現状を把握して私の想いをつくる

2-7.ミニワークショップ（わたしの想いを書いてみよう）

コミュニティに対する私の想いを、下に言葉と絵で書いてみましょう。時間は3分です。

■ 第3部. 身近な仲間を集めてビジョンをつくる

3-1. 身近な仲間を集める

コミュニティづくりの第1歩は、身近な仲間に、私の想いを伝えて巻き込み、仲間といっしょにビジョンをつくることです。一人の想いを周囲に発信することによって、より多くの仲間たちが集まり、同じような想いを持つ人同士の交流が始まります。下記7点を注意しながら進めていきましょう。

1. 多様な主体が参加したコミュニティづくりでは、たくさんの主体と一緒に連携しながら取り組みを進めます。
2. コミュニティの内外から、多くの個人や組織を巻き込み、共に活動することが、その後のコミュニティづくりを成功に導く上で不可欠です。
3. また、戦略を練り、実行するには幅広い個人や組織のサポートが必要です。
4. 初期の段階から、多様な関係者の支持を得るためには、多くの主体に早い段階から加わってもらい、話し合いを行うプロセスが大変重要になります。
5. その第1歩として、身近な仲間に、私の想いを伝えて、仲間といっしょにビジョンをつくります。
6. 周囲に身近な仲間が得にくい場合は、広域やネットで交流のある仲間でも結構です。
7. 身近な仲間との話し合いができれば、次に、ビジョンと関係する多様な主体を集めて、話し合しましょう。

■ 第3部. 身近な仲間を集めてビジョンをつくる

3-2. 呼びかけのチラシをつくる

身近な仲間を集めて、話し合いの会合を開く際には、私の想いを伝えて、参加を呼び掛けるチラシを作成しましょう。呼びかけのチラシには、会合の名前、メッセージ、私の想い、会合の概要などを書きましょう。

図表 呼びかけのチラシに取り込む要素

- 会合の名前（ひとつ）
- メッセージ（1行で）
- 私の想い（5行程度で）
（コミュニティの現状、課題、私の問題意識、みんな
で考えたいこと）
- こんな人に集まってほしい
- 会合の日時（集まりやすい時間、2時間程度）
- 会合の場所（集まりやすい場所）
- 話し合いの内容（箇条書きで）
- 呼びかけ者の名前、連絡先

バージョンUP! かつらぎ町

～子ども達が誇りを持てる町づくり～
＼かつらぎ町/で暮らす皆さんへ。
ワークショップします!

「かつらぎ町って最高に面白い!」を一緒に作りませんか?

都会からかつらぎ町に移住して1年。地元の人から「こんな何もないところによく来たね。」と言われるけれど、かつらぎ町って最高!です。自然豊かで子育てもしやすく人もいい!でも、知られてない!誰にも知られていないフルーツ王国かつらぎ町!もっと増えるはずだよ観光客and移住者。そして結構深刻、一寸先は耕作放棄地だらけ。かつらぎ町を子ども達にとって誇りを持てる町にするために、最高に面白い町になるように、みんなで考えるワークショップです。

日時【第一回】11月18日(月) 13:00~15:00
【第二回】11月29日(金) 13:00~15:00

場所: 足生の秘密基地。持ち物: 元気な気持ち。

氏名/年齢/住所/お電話番号をご記入の上、11/15(金)までに、katsuragichou@gmail.comまでご連絡ください。

主催: かつらぎの!編集長 いのはらゆきこ

■ 第3部. 身近な仲間を集めてビジョンをつくる

3-3. 身近な仲間を集めてワークショップを開く

身近な仲間が集まった話し合いの中で、楽しく・意思決定を進めていく為にワークショップの手法を推奨しています。ワークショップは多様な参加者が集まる会議の手法として、有効な方法といわれています。その特徴は以下の通りです。

(手法の工夫)

- カードを使ったグループワークで、全員が意見を出せるようにします。

(プロセスの工夫)

- どんな意見もカードに記録して、1枚の模造紙の上に貼ることで、みんなで受け止めたというカタチを取ります。

(重要度や関心度の評価)

- ものごとを決める前に、模造紙で展開された意見を、全員でシールを使って投票することで、重要度や関心度を「見える化」できます。

(絞り込み)

- 多数の意見を、同列で並べて、比較検討して、段階を経て、絞り込んでいきます。

(当事者意識で選択する)

- 参加者に、自分なら、どれに参加して活動したいか、選択してもらうことができます。

■第3部. 身近な仲間を集めてビジョンをつくる

3-4. ワークショップのプログラムをつくる

ワークショップでは当日のプログラムを模造紙に書いて掲示することによって、参加者に、目的、目標、タイムスケジュールなどを明示します。

図表 ワークショップのプログラム

ワークショップの名称

目的：

目標：

- 00:00 開会あいさつ (ファシリテーター)
- 00:05 オリエンテーション (目的、目標、活用など)
- 00:10 自己紹介と役割分担 (書記、発表者、タイムキーパー)
- 00:20 わたしの想いを説明
- 00:30 みんなで意見交換
- 01:00 個人作業 (カード書き)
- 01:10 カードの読み上げ
- 01:20 カードの整理とサブタイトル書き
- 01:30 キャッチフレーズの作成、班名、参加者名
- 01:30 模造紙の完成
- 01:40 発表と意見交換
- 01:50 次回の検討
- 02:00 閉会

図 ワークショップのプログラムの例



■ 第3部. 身近な仲間を集めてビジョンをつくる

3-5.カードを使って楽しく意見を出す

ワークショップでは、カードを使って意見を出し、みんなでカードを読み上げ、分類して、模造紙の上に整理します。この方法ですと、和気あいあいとした雰囲気の中でたくさんの意見が出ます。参加者が立ちあがり、全員総立ちになれば、会議は成功と言えます。

図表 カードを使った意見出し



■ 第3部. 身近な仲間を集めてビジョンをつくる

3-6.カードを分類して模造紙に整理する

模造紙は、「コミュニティの課題」「コミュニティのあるべき姿」「コミュニティの良い点（地域資源）」などに分けて整理し、最後に全員で振り返ります。2～3時間のワークショップで、たくさんの意見が出てきて、コミュニティの現状から将来の姿まで整理することができます。

図表 模造紙の作成



■第3部. 身近な仲間を集めてビジョンをつくる

3-8.「私の思い」を「私たちのビジョン」に展開して課題を整理する (第2回)

ワークショップの第2回の模造紙は、最上段にキャッチフレーズ、その下の青色カードは「私たちのビジョン」、左側の赤色カードは「課題の分野」、黄色カードは「課題」を表しています。そして参加者が重要と思う課題に対して赤色シールで投票して、課題を絞り込んでいます。

図 ワークショップ第2回目の模造紙②



美里ママのキラキラプロジェクト! 2班

齋 金丸
山本 三瓶
高山 山口

みりばあさん みんぱが来た なる町にる	町民全員 ワワワ隊員	ママが キラキラできる町	地域が一休となって あの未来を 語れる実行部隊	自分の思いが みんなの思いになら れて町が変わる
想いを(内へ) 発信	ママ友と私のために 語り合う場をつくる	仲間をのり グループを明確化 する	帯巻とこけり MISATOの中心で 落とすのがいい	身近な人の声 掛けて少くも つながる
地域内の 連携	親身 他の市町村の成功 モデルの発信 JJA主催で高齢者 向け	お互いを支える 交流の場 をつくる	町民運動会 参加型の交流の場	カミバロ体験 (アロマ体験)を 通じたチームビルディング
希望が持てる 子育て環境	PTAや学校行事 を利用して 交流の場	子育て真っ最中 親(5人)とママと 交流の場 をつくる	農業体験 を通して	5年リーダー 作り
風を 呼び込む	新卒 MISATO出身の会社 を呼び込む (30代、40代、50代)	魅力と作る 作物の体験 をつくる	都会の大学生 農業体験に来る ママ友に お礼のメールを 送る	毎月 社会と交流 イベント開催
経済 活性	カフェ 専用月店	ママ友と特産品を 作るお祭り の開催	ビックスーパー イオンタウン を作る	カフェ料理教室 × 英語(アメリカ)
地域農業の ブランド化	お米の食味 日本一を目指す	MISATO の米	女性が機械 に乗りこなす PR	少人数 でPR
魅力発信 (外へ)	スマホ教室 (1.2ヶ月 全員の参加) 早急UP	田舎 の魅力を PR	方言 発信	SNSで 発信する PR
				町民1人1人 の意見 を PR

第3部. 身近な仲間を集めてビジョンをつくる

3-9. ビジョンを実現するためのアクションプランのアイデアをつくる (第3回)

ワークショップの第3回の模造紙③は、最上段にわたしたちのビジョン、左側の青色カードは「課題の分野」、緑色カードは「アクションプランのアイデア」を表しています。そして参加者が重要と思う課題に対して赤色シールで投票して、課題を絞り込んでいます。

図表 ワークショップ第3回目の模造紙③



私たちのビジョン

四季を通い楽しく働き学べる会社「じんぱ」農園

提案者 三瓶やえ 参加者 鈴木 高山 成田 松本

分野	アクションプランのアイデア	評価
食品加工 (保存食)	<ul style="list-style-type: none">計画 卸工会 (11.2期 2014) ● 保存食の中で 腸内菌に集中して 作る加工後の 食べ方の提案 ● 見出しの 再考が必要に なる。食生活の 改善に合わせた 提案が必要糖尿病の方 ● 健康に良いものを 提供するための 提案が必要乾燥パン ● 2021年春のパンに 1.5倍の 量を提案お好み焼き ● 味付けのパン 製造を提案水餃子 ● 水餃子のパン 製造を提案	
体験 (技術の伝承)	<ul style="list-style-type: none">あのだらちを 伝承 ● 見出しのパンを 提案米の活用 ● 米の活用を 提案食生活 ● 食生活の 改善を提案大人向けの体験 ● スーツの 提案きき曲イベント ● スーツの 提案	<ul style="list-style-type: none">小学校教育 ● 小学校教育 での活用高齢者 ● 高齢者の 活用大学の 授業 ● 大学の 授業地域の 活動 ● 地域の 活動
コミュニティ カフェ	<ul style="list-style-type: none">発酵食品の 活用 ● 発酵食品の 活用パン ● パンの 活用	
サポーター 卒業	<ul style="list-style-type: none">社会で 伝統 料理を 作る ● 社会で 伝統 料理を 作る食べる ● 食べる便利屋講座 ● 便利屋講座やまの 料理 ● やまの 料理	

第3部. 身近な仲間を集めてビジョンをつくる

3-10. 戦略とアクションプランを整理する (第4回)

ワークショップの第4回の模造紙④は、最上段にわたしたちのビジョン、左側の青色カードは「戦略」、緑色カードは「アクションプラン」を表しています。そして右端に各戦略のK P Iを表しています。

図 ワークショップ第4回目の模造紙④



楽しく わくわく 地域のブランド 輝おこしいやさい部 ②		
戦略	アクションプラン	K P I
認知度UP戦略	<ul style="list-style-type: none">SMT 日か野菜作り 野菜レシピの視察を 発信す行政に国交の してシェアのあーせん和いやさい部 1冊レット工作成功	7200人 - 1000人
販路開拓戦略	<ul style="list-style-type: none">やさい部野菜が 食べれる飲食店の 開拓す消費者の声をきく!! 丁寧な接客 (とらばなりの店にかな?)	
体験交流 戦略	<ul style="list-style-type: none">和食の農園 現地視察会を 開催す三者交流会 分南催 → 店と現地農園の 1冊レット開催	交流会を 年4回南催 春夏秋冬
生産戦略	<ul style="list-style-type: none">消費者の声をきく 生産者間と 生産計画を共有す野菜カレンダーを作る生産者間の勉強会7/21/26/28/29 重視して生産者研修 野菜の生産者	

■ 第3部. 身近な仲間を集めてビジョンをつくる

3-11. アクションプランの優先順位をつけて具体的な内容をつくる (第5回)

ワークショップの第5回の模造紙⑤は、最上段にわたしたちのビジョンが書かれており、その下に3つのアクションプランが具体的な内容まで整理されています。

図 ワークショップ第5回目の模造紙⑤



私たちのビジョン 四季を通して楽しく働き学べる会社さん農園③
「只見スタイルあめよばれ!!」
※活動の目的に合わせた色で。

提案者 三瓶やえ 参加者 鈴木、高山、成田、松本

	アクションプラン①	アクションプラン②	アクションプラン③
アクションプランの名称	さんばの達人 伝承(体験プログラム作り)	『あめよばれ』 PR大作戦	さんば馬草子 商品開発
何を するか	体験プログラムを作る	動画・パンフレットを作る	商品開発
誰が 誰と	さんば農園のメンバー 地域の達人・名人	さんば農園のメンバー 友人 西島さん	さんば農園のメンバー
いつまでに	2021.2 までに	2020.3 まで	2020.3 まで
どのくらい	3プラン 各発生 30名	7x7x7 日時 1,000	5種類 品目

■ 第3部. 身近な仲間を集めてビジョンをつくる

3-12. 完成したアクションプランを周囲に働きかける

ワークショップを5回程度開催して、アクションプランが完成し、ともに行動する仲間ができれば、提案書を作成して、周囲の仲間や関係団体に働きかけて、ビジョンの実現に向けて行動を開始します。

図 アクションプランの提案書例

2019年3月3日

お仕事コンビnかつらぎ

「ちょっと働きたい」と「ちょっと手伝ってほしい」を繋げる

Katsuragi

経緯
2019年11月～「かつらぎ町を魅力ある仕事に溢れ、新しい挑戦ができ、子ども達が誇りをもてる町に！」との想いに共感した町民15人で、町づくりワークショップを開催。町の好きなところ、課題、あるべき姿などを洗い出す。

事業のテーマ
多種多様な町民の方がそのままかつらぎ町の方になっていく！

事業の目的
＜子育てママ・高齢者・障害者＞の「ちょっと働きたい」と、事業所の「ちょっと手伝ってほしい」をマッチングさせる場をつくることで、町を元気にする。

背景
「保育園にはまだ預けたくないけれど、ちょっとした仕事をしたい。」という子育てママは、丁度出てくる場所を求めています。一方、事業所は、人を新たに雇うまでもないちょっとした業務をお仕事コンビnに外注することで、固定費もからず、社員はその分、利益を生み出す仕事に時間を使えるメリットがあります。

事業の特徴3つ

- 1 子育てママは、子供れ出勤ができ、専業主にもなる。子守りはママ達が順番に見る。
- 2 事業所は固定費がかからずちょっと手伝ってほしい業務をアウトソースできる。
- 3 日々のスキルを学べるため、スキルアップができる。

決まっていること

- <1>4月24日岡山県なご町に視察へ行きます！（自費）
- <2>活動場所は、空き家を安く賃貸できそう。（町づくり補助金3分2補助の申請をします）

本日アドバイス頂きたい2つのこと

- 1、企業側から見た時に「ここをこんな風にしたら上手くいくんじゃない？」といったアドバイスをほしいです。
- 2、実際に貴社で、ちょっと手伝って欲しい業務はありますか？

メンバー

指原有紀子 WEBマーケター 3児のママ 農家 かつらぎの副職員	表長けいこ 元幼稚園教諭 子育てサークル代表 2児のママ
門田まきこ 小学校教諭 2児のママ ファイナンシャルプランナー	表長ひろし 元米國アトランタ勤務 2児のパパ
亀田えりこ 3児のママ 元バリスタ	柴森あみ 役場職員 実家は有限会社シバモリリカー
幸岡かずみ 2児のママ 元教習指導員 ジムインストラクター	森永えり 農実家は柑橘家 田辺から帰る 3児のママ
田村なお 元幼稚園教諭 農実家はかつらぎ業務 3児のママ	貝畑ひろこ 介護福祉士 3児のママ
清口善之 役場職員 東京五輪聖火ランナー	平岡よしみ 子育てサークルスタッフ 2児のママ 松山ゆう 元ミモネ勤務

■ 第3部. 身近な仲間を集めてビジョンをつくる

3-13.ミニワークショップ（身近な仲間呼びかけるチラシをつくろう）

あなたの想いを実現するために、身近な仲間呼びかけて、ワークショップを開催するための、呼びかけのチラシをつくってみましょう。

図表 呼びかけのチラシの重要な要素

- 会合の名前

- メッセージ（1行で）

- こんな人に集まってほしい

3-14.コミュニティづくりの進め方

コミュニティづくりを進める際はリーダー一人の力だけでは解決できない問題が多数発生します。コミュニティに所属するメンバーや、コミュニティ外の多様な主体が力を合わせて、コミュニティを運営していくこと、そのための組織をつくることが重要です。コミュニティの多様な参加者が、つながって、コミュニケーションを高め、アイデアを出し合い、みんなの力を組み合わせることで、コミュニティの「やる気」と「熱気」を生みだします。

図 コミュニティづくりの進め方

